

令和4年

駒ヶ根市教育委員会 第10回定例会

会 議 録

駒ヶ根市教育委員会

令和4年駒ヶ根市教育委員会 第10回定例会議事日程

告示年月日 令和4年9月20日(火曜日)

開催年月日 令和4年9月27日(火曜日)

開催場所 駒ヶ根市役所 本庁舎2階 大会議室

開会時刻 午後1時59分

閉会時刻 午後2時54分

- 1 開会
- 2 教育長報告
- 3 事業報告及び事業計画
 - ・次回定例教育委員会 10月25日(火) 14時~保健センター2階 大会議室
- 4 審議案件
 - なし
- 5 協議事項
 - なし
- 6 報告事項
 - (1) 令和5年度義務教育関係諸学校教育職員等人事異動方針について
 - (2) 行事共催等承認申請の専決処分について
- 7 その他
 - (1) 南部市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会について
 - (2) 第65回長野県市町村教育委員会研修総会オンライン開催について
 - (3) 赤穂小学校 主幹訪問について
 - (4) 教育課程研究協議会での御挨拶について
- 8 閉会

出席者

教 育 長	本 多 俊 夫
教育長職務代理者	福 澤 惣 一
委 員	唐 澤 浩
委 員	氣賀澤 知 保
委 員	木 下 健 一

欠席者

なし

委員以外で会議に出席した者

教育次長	北 澤 英 二
子ども課長	赤 羽 知 道
社会教育課長	宮 下 る み
学校教育係長	水 野 毅
教育総務係長	中 嶋 英 貴
教育総務係	竹 田 正 樹

傍聴： 1人（うち報道機関1人：長野日報社）

会議のてんまつ

議事日程記載のとおり

午後1時59分 開会

1 開会

○本多教育長 改めまして、こんにちは。(一同「こんにちは」)

時間よりちょっと早いのですが、全員おそろいですので、ただいまから令和4年駒ヶ根市教育委員会第10回定例会を始めたいと思います。よろしくお願いします。

2 教育長報告

○本多教育長 大変日が短くなったなあと感じる昨今であります。6時といえはもう薄暗くなって、ついこの間まで7時半だなんていってもまだ明るかったのですけれども、かなり秋らしくなってきたなあという感じがします。

今日なんかのたまの日差しも肌に痛く感じます。春の日差しと秋の日差しは紫外線が強いのでうんと気をつけろとよく言われますけれども、秋は殊さらだなあというふうに思います。

また、収穫の時期でありお忙しい中を御参集賜り、本当にありがとうございます。

早速、私のほうから話に入っていきたいと思います。

冒頭に「山栗の 大木のある なつかしき」なんていう俳句をちょっと載せさせていただきましたけれども、ちょうど今は栗のシーズンになります。

近隣の飯島町では、北の小布施、南の飯島といって、栗の名所にするのだと言って必死になって栗を育てておりますが、私の小さい頃の記憶でありますと、山栗というのは地栗のでかいものよりも小さいけれども甘いのですね。本当に小さくて小ぶりなのだけれども、とても甘い。この俳句を読んだときには何か原風景をちょっと思い出した感じがいたします。

あのとげとげのいがの中に甘くて香ばしい実があるというのを誰が発見したのでしょうか。すごいなあというふうに思います。見かけと違うなということなのですが、こういう仕事に就いているときには子どもたちを見たくて判断しちゃいけないなあというようなことを、栗のいがを見ても思うところであります。

今日は「先達の教え」を中心にちょっとお話ししたいのですが、もうとっくに亡くなった安岡正篤という方なのですが、日本の政治家にまで影響を与えた哲学者といますか、人の道を生きた人でありますけれども、この人が今読んでなるほどなあという言葉を書いております。

「木というものはあまり枝葉が茂りすぎたり、花や実がつきすぎたりすると、一時的にはたいそう盛んなように見えるが、じつはそれによって木の生命力は弱くなる。」と、そんなようなことを書いております。

そして、終わりから2行目あたりのところ、「先輩・年長者と後進の若い者とが断絶することなく、連続して一つに結ぶことだ。」と、やっぱりこれがこれから生きていく時代には大事だぞというふうに書いております。もう何十年も前に亡くなった方ですけども、こんな言葉を聞いても今に通じるなあというふうに思います。

過日、駒ヶ根市の夏の教職員研修会では後藤先生に講演していただきまして、アンケートにいろいろ答えていた職員に「それこそ、今、動けばいいじゃないか」というようなことを言ったか

と思います。口で言っているだけではなくて、やはり動くことが大事だなということです。

また、森信三は「実践なき理論、理屈は、無意味どころか有害ですらある」とまで言い切っております。このあたりの先人の言葉を大事にしたいなあということでもあります。

もう一つは、「無私の日本人」という本をちょっと読んだのですが——これは磯田道史さんという私よりちょっとばかり若い人の本です。大田垣蓮月という江戸後期の絶世の美女と言われた方の生きざまを書いておったのですが、西郷隆盛は勝海舟や山岡鉄舟のおかげで江戸城総攻撃を思いとどまったなんて言われておるけれども、いや、実は蓮月さんから贈られた歌のほうが影響は強いのではないかとされています。

「あだ味方勝つも負くるも哀れなり同じ御国の人と思えば」

何を敵味方に分かれてというような、争うこととは何事ぞという思いではないかなというふうにするのですが、この歌のおかげだというふうにも言われているという人です。

何を言いたいかといいますと、この国は、すごい人間ではなくても、無名の江戸時代の人々にそれぞれの哲学が宿っていたということでもあります。それがこの国に数々の奇跡を起こした、そんなようなことが書かれておりました。

欄外のハートマークのところをちょっと書いてございますが、「無私の日本人」という題名の「無私」というのは私をなくすということでもありますので、自分さえよければいいという考え方を捨てるということのようでもあります。

利他の心を持ってともよく言われますけれども、最近とみにそれを聞くようになりました。それだけ日本人がもう自分のことしか考えていないというような生き方をしているのではないかなというふうに思います。

最後の行に書いてありますが、「かつての日本人は生き方に誇りと矜持を持っていた。」と、古い本を読めば読むほど、そういうことを感じます。

今生きている私たちは、ネクストである、また未来を担う子どもたちにそのような生き方をさせてはまずいなあということを思って、そこに掲げさせていただきました。

長くなって申し訳ありません。

ちょっとはしよります。

大きな四角で囲った中をご覧ください。いつときニュースになったと思いますけれども、麹町中学校で校長をやっていた工藤勇一さんがある雑誌に寄稿していましたので、そのところの内から育つに関わるところだけお話をさせていただきます。

そこには「子どもたちの生きる力を育てる」ということが書かれていました。ちょうど真ん中のところ「生徒と教員の自律をどう育むか」というところです。

この先生は3つの合い言葉——全て疑問形なのですが——生徒たちにこう向かったといいます。1つ目は「どうしたの？何か困っていることがあるの？」、2つ目は「そうか。それで君はどうしたいの？」、3つ目は「私に何か手伝えることはある？」と、荒れた学校の生徒に対峙したときにはこの3つを子どもたちに聞いたというのですね。どの先生たちにもこういう聞き方をしてくれよというふうにお願ひしたそうです。

全て疑問形だから、必然的にこれは全部自分で考えなきゃならないということなのですよ。これがやっぱり内から育つヒントになるかなというふうに思います。

最後の丸のところに「学校が変われば必ず社会が変わる。」とあります。これは私もなるほどな

あというふうに思っているところであります。

長くなって申し訳ありませんでした。

「ちょっと立ち止まって」のほうは、また御覧いただければと思います。

本日もよろしく願いいたします。

3 事業報告及び事業計画

○本多教育長 それでは、事業報告及び事業計画のほうをお願いいたします。

○北澤教育次長 事業報告及び事業計画資料により説明

○本多教育長 事業報告及び事業計画につきまして、いかがですか。

〔発言者なし〕

○本多教育長 各学校で当初予定されておりました行事、修学旅行やら運動会等は少しずつ消化できているように伺っております。

赤穂中の修学旅行も市外に泊まって奈良、京都を回ってきたということです。ちょっとコロナの心配もあったのですが、無事に予定を終了したというふうに聞いております。

1名コロナ感染者が出たのですが、親御さんにお迎えに来ていただいたということです。

今回、学んだことがあります。昨日、赤中の校長と面談をしていた時に、修学旅行の付添いの先生がしっかり検査キットを持っていたから、それでコロナを調べられたという報告があったので、「火中へ行くには大事だな。」と言ったら、「いや、上伊那の各学校の先生方にも聞いたのだけれども、持っていく学校は少なかった。」と言うので、「よそが持っていかないから、うちも持っていかないというのではなくて、火中へ栗を拾いへ行くみたいな気持ちで行くわけだから、やっぱりどうすれば防御になるかということを考えるべきだな。」という指導をいたしました。やっぱり、これからは必要なものは持参していくべきだなあというのが1つの反省でありました。

ちょっと事業報告から外れましたけれども、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 ありがとうございます。

次回の教育委員会は10月25日の午後2時から、今日はちょっと場所がいつもと違うところですがけれども、いつものように保健センター2階の大会議室になりますので、よろしく願いします。

4 審議案件

なし

5 協議事項

なし

6 報告事項

(1) 令和5年度義務教育関係諸学校教育職員等人事異動方針について

○本多教育長 今日は審議案件と協議事項はございません。

早速、報告事項のほうに入らせていただきます。

最初に令和5年度の義務教育関係諸学校教育職員等人事異動方針について、お願いいたします。では、すみません。最初に8ページをちょっと御覧ください。

これから説明する中にブロックとかエリアという言葉が出てきます。

もう教育委員さんたちも大分慣れてきたと思いますが、再度確認ということです。

長野県はブロックが東信、南信、中心、北信と4ブロックに分かれております。ここはそのうちの南信に当たるわけです。

エリアと呼ばれているのは、ブロックの中が3つに分かれ、全部で計12エリアに分かれていて、南信の場合には南部、中部、北部というふうに分かれております。

駒ヶ根は該当都市が上伊那でございますので中部、中部の上伊那ということで、該当の市町村はそこに9つ、いつもの8市町村にプラス辰野町塩尻市小学校組合がそこに載っております。

そんなことをちょっと御承知おきください。

その下に採用地ブロックという言葉とか異動条件というような言葉が出てまいります。

文言をちょっと見ていただくと、南信の場合ほかと違うのは、南信は諏訪、上伊那、下伊那と非常に広いので、「・2校目は引き続き南信ブロック内での異動を原則とする。」というのがちょっとほかのところを変わっているところであります。そうでないと、1校だけでどんどんどんどん戻られてしまうと教員が足りなくなってしまうというような状況でありますので、そんなところ

です。次に、10ページを見てください。ここには一番上のところにエリア、学校、山間地校という言葉がございます。昔は僻地とか言っていましたが、今は山間地校という言い方になっております。

ちょうど真ん中辺の南信中部というところの小学校というところをずっと見ていきますと、中沢、東伊那がそこに当たります。

その下の中学校は駒ヶ根東中が山間地校でございます。

それ以外は市街地とか平たん地という言い方をしますけれども、一応そんなことを頭に置いていただければというふうに思います。

それでは、毎年のごとくですので、少し早口で早めに言っていきいたいなあというふうに思います。

最初のところだけちょっと読ませていただきます。

教育職員等の人事異動については、学校教育の充実発展を図るため、全県的な教育水準の向上を期し、各校の教育を清新ではつらつとしたものとするように推進する。その際、異動は教職員が地域に根ざした教育を実践できるようにすることに配慮するとともに、教職員の資質向上のために必要な研修の機会としてとらえ、地域の実情を勘案して、校長、市町村教育委員会（中略）及び県教育委員会の3者（中略）の協力によって、将来的な展望を踏まえ計画的に行う。

なお、山間地における教育強化及び市町村の特色ある教育活動を支援するための教育職員等人事異動については別記による。

ということになります。

人事は研修だというふうに言われます。4行目に「研修の機会」と書いてございますけれども、そんな捉えをしたいということでございます。

1の教職員の異動でございますが、6項目書いてございますけれども、かいつまんで説明しま

す。

1つ目は全県的立場であるということ。

2つ目は学校種別間の異動に努めるということ。先ほど申し上げました市街地、平たん地、山間地を相互に入れ替われよということであります。

3つ目は、毎年、私がここで話します「校長については、1校での勤務が長期化するよう努める。」ということです。これが盛られるようになって大体10年くらいになります。

4つ目は、「原則として当該市町村内に居住し、」というふうになっております。現実には、なかなかそうではないところも見られます。ですが、原則はこういうことでございます。

6つ目のところには「女性の積極的な任用に努め、」ということが書かれております。

一般教職員の異動についてでございます。

3番目のところでございます。「教職員が自らの意志で主として勤務することを希望したエリアを本拠地という。」私どもはよく骨をうずめるところと言いますけれども、自らの意志で主としてそこでしっかり勤務すると希望したエリアを本拠地といひます。

最後の行でございますが、「新規採用者については、教員採用選考の合格通知に示された在職期間中に主として勤務するブロックを採用地ブロックという。」これは呼び方だけです。

6ページに行っていたきまして、大事なところが④番に書いてございます。「在職期間中に本拠地を含むブロック以外のブロックを1つ以上経験する」——自分のブロックだけにいちや駄目だよということです。「とともに、本拠地を含むブロック内の3つのエリアでの勤務を経験する」これを原則とするということです。

⑤番は、これは意外と忘れられがちなのですが、市街地、平たん地、山間地の相互間の異動を積極的にやれよということの中に3つほど書いてございます。

同一ブロック内連続市街地3校となる異動は駄目だよ、避けなさいよということであります。市街地ばかり3校連続しては駄目だよと、山間地へ行ったりしていろいろ経験しなきゃ駄目だよということです。

それと「同一市町村内の4校連続異動は行わない。」、駒ヶ根市内だけで4校を転々としておっでは駄目だよということです。

また、「在職期間中」——退職するまでの間に「山間地校での勤務を経験する」、これを原則とする。我々の年代の中には街なかだけでやっているというような人もおりましたが、今は、もうほとんどそういうことはないはずであります。

⑦番であります。ここが時々問題にされますが、「1校における在任期間は、原則として8年を限度とする。」、そうすると先生たちの中には居心地がよかったら8年はいられるのだなという意識にすり替えている人がいますが、そうではないのです。1年1年が積み重なってたまたま8年でも、長くても8年で次の勤務場所へ移るのですよということであります。勤務の不公平性が起こらないようにということであります。

⑩番と⑪番にちょっと連続で似たようなことが書いてありますが、平成28年度以降平成31年度までの採用の方は、2校目の異動に際しては本拠地が含まれるブロックに配置する、これが原則になっています。令和2年度以降の新規採用者の2校目の異動は各ブロックの実情を勘案して規定されたブロックの異動条件に沿って実施すると、先ほど私が読んだブロック内の異動というようになります。

後にも似たようなことが出てきますが、そこでまた伝えたいと思います。

6 ページの下のほうの2の中学校、高等学校の人事交流は、積極的にどんどん進めていきましようということが書かれております。

7 ページのほうは、新規採用、また適用等について書かれておりますので、また後日御覧いただければと思います。

9 ページのほうをちょっと見ていただきまして、先ほど申しあげました山間地、その教育の強化のための人事異動をしっかりと行えよということであります。

繰り返して出てきておりますので、ここのところは先ほどの説明のことが丁寧に書かれておりますので、目で追ったりして、また時間のあるときに見ていただければお分かりになるかと思えます。

11 ページを御覧ください。

先ほどとちょっと関わりのあるようなところでございますが、1 教職員の異動について、(2) 一般教職員の異動について、2 回出てくるということは、よくよくここのところだけは心してくださいねということですので、くどくど出てまいります。

⑩番のところは、先ほど言った平成28年——なぜこういうのが出てくるかということ、異動の原則がちよっと変わったところがございます、採用方法等も変わりましたので、こんな断り書きがついておおります。

平成28年度以降平成31年度までの採用で、本拠地が含まれないブロックに配置された小中学校の新規採用者の2校目の異動に際しては、本拠地が含まれるブロックに配置することを原則とする。

「取扱い」としては、

平成28年度以降平成31年度までの採用で、本拠地が含まれるブロックに配置された小中学校の新規採用者の2校目の異動に際しては、本拠地が含まれないブロックに配置することを原則とする。

何を言っているのだろうかあとと思いますが、⑩番の説明を申し上げますと、本拠地が含まれない、つまり、例えば北信ブロックが本拠地の人が、北信ブロックはちょっといっぱいなので、全県的な視野に立ったときに、伊那、要するに南信ブロックのほうに最初に配置されたとします。そういうことがございます。その人が本拠地の含まれないブロックに配置されて、今度の2校目の異動に際しては必ず北信ブロックのほうに配置されますよということです。これが四角の上を書いてある部分です。

「取扱い」のところは、逆に本拠地が含まれるブロックに配置された新規採用者、つまり駒ヶ根出身で南信ブロックに配置された人が今度は2校目の異動だよとなったとき、2校目は本拠地が含まれないブロック、南信ブロック以外へ行く、そういうことになるわけです。

昔、私どもの新卒の頃には、南信の人間は北信へ、北信の人間は南信へということで、有無を言わず異動しておりました。

何でこんなようにして出身地とか本拠地のことを言うかといいますと、例えばそのまま10年くらい転々としながら上伊那へ戻ってくるようだと、おまえ誰よと、顔も知らんわというようなことで、私も似たようなことを言われました。

竹田さんはどうでしたかね。

○竹田教育総務係 私は43歳で帰ってきたので、誰も知り合いがいませんでした。

○本多教育長 戻りたくてもいろんな事情があったりして、おまえ誰よ、本多か、聞いたことねえなあというような、そういうことはなくそうと、最初に新卒で顔を覚えて、それから他ブロックへ行っただけいいのではないかという発想のようなのですが、私個人的にはどっちもよしあしだなあと思うのですけれども、早くにその釜の飯を食ってきたほうがいいかなあとも思うのですけれども、今はそういうふうになっております。

①番も同じようなことで、今度は採用地ブロックという言葉で同じようなことが書かれていますので、読みませんが目を通していただければと思います。

12ページであります。

高校と中学の人事交流、中高交流とありますが、3番目のところにありますが、おおむね3年、もちろん免許がなければだめなのですが、免許がある先生でそれぞれに違う義務と高校をちょっと経験したいなという前向きに考える先生がいたら交流ができますよということです。

毎年そんなに多くはないのですが、10人弱くらいか。何組か、受ける側と出す側がそれぞれにいないと成立しませんが、そんなような交流もしておるということでございます。

ちなみに、昨年まで赤中の教頭先生だった長坂さんは岡谷南高校の教頭先生として行っております。まあ、やることなすこと、もう訳が分かりませんと言っていますが、義務と高校はそのぐらい違いますので、またいい勉強をされてくるのではないかなというふうに思います。

かいつまんでちょっとくどくど申し上げましたけれども、以上でございます。

義務教育課から出された異動方針にのっとり今年も人事を進めていくということで御承知いただければということでございます。

何かこの点について御質問、御意見等ございますか。

〔発言者なし〕

○本多教育長

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 御承知おきいただければと思います。

(2) 行事共催等承認申請の専決処分について

○本多教育長 続きまして行事共催等承認申請の専決処分について、お願いします。

○竹田教育総務係 13ページを御覧ください。

今回ですが、21件も申請がありました。そのうち新規のものも6件あります。

新規のものについて説明させていただきます。

4-058、信州まるごと健康チャレンジです。これは県が行っている健康関係の信州ACEプロジェクトというものを子どもたちへ下ろしていこうという事業です。

それから、4-060、焼きたてカフェですが、広小路の歩行者天国の計画です。

それから、4-063、これは子ども向けの野外イベントです。出店があったりするようですが、お金的には祭りを盛り上げるためだけのものであって、営利性はないと考えます。

それから、4-068、こちらは駒ヶ根市民ゴルフ大会ということで、生涯スポーツに関係するものです。

4-069、おやこの食育教室ですが、子どもの食育に関する教室です。

それから、4-070ですが、こちらのほうは新規ではありますが、回数を見ていくと11回目の事業です。今回は教育委員会への申請が初めてということです。

それから、今回は共催の申請が幾つも入っています。

4-054はハッチョウトンボの棲息地作業、4-064は中体連の試合です。こちらのほうは駒ヶ根市がサッカーと軟式野球の会場になるというものです。それから、佐野さんのリサイクル、それから4-070、ぱとなまつり、4件が共催です。

以上、新規のものが6件、例年続いているものが15件。計21件について説明させていただきました。

それから、親守詩の問題が出てから後援については今まで以上に意識してしっかり見ているわけですが、あれ以降はないです。というか、親守詩の申請があったときにも、実はあの団体は入っていなかったのです。その後でできたチラシに入っていました。

今また見てみると、親守詩の後援には何十という団体が入っていて、ちょっとよく見てみるとほかの団体の申請とは違います。ほかの団体の申請は共催とか後援といっても2~3個しかつかないのですが、親守詩はたくさんついていたので、これからはそういう点もまた注意して見ていきたいと思います。

説明は以上です。

○本多教育長 共催が4件、後援が17件です。

ぱとなまつり、佐野茂宏リサイクル、ハッチョウトンボ—ハッチョウトンボは前からであります。こういったところが共催であるということでもあります。

御意見等ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 親守詩は、ちょっと議会のほうで言ったからあれだったけれども、受けるときには去年のピラを持ってきたというのだけれども、今年はどうなっているのだと言って突き返すことも大事じゃないのかね。

○竹田教育総務係 はい。

○本多教育長 ミスとか、そういうことじゃなくて、そういう団体は結構あると思うのだけれども、そんな古いものを持ってきてもどうしようもないから、やっぱり今年はどうなっているんですかと再度確認することは大事かなと思いました。

○竹田教育総務係 実は、あの後、計画案がなくて申請された団体が幾つかありました。それについては、計画書を持ってきてください。受け付けできませんと言って返したりしています。

○本多教育長 長野県中をちょっと騒がせた事件でもございますので、非常に担当者も敏感になっております。やっぱりそのところをきちっとしておけば大丈夫かなと思います。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 御承知おきいただきたいと思います。

7 その他

(1) 南部市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会について

○本多教育長 では、その他のほうに移ります。

南部市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会について、お願いします。

○竹田教育総務係 14ページを御覧ください。

10月4日の南部市町村教育委員会連絡協議会ですが、情報交換会が中止となったという連絡です。

会費のほうはそこにありますので、よろしくお願いします。

以上です。

○北澤教育次長 車は保健センターのほうで出すので、2時からなので一応1時半出発くらいでよろしければ……。多少は余裕を見てということで、よろしくお願いします。

懇親会がなくなったので、年会費だけ、教育長さんと教育委員さんは当日500円を集めますので、よろしくお願いします。

コロナの状況もあるので、これを決めたのは大分前、9月8日の日みたいなので、よろしくお願いします。

○本多教育長 後の会がなくなっただけで、後は同じですが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 では、当日はお世話になります。よろしくお願いします。

(2) 第65回長野県市町村教育委員会研修総会オンライン開催について

○本多教育長 では、続きまして第65回長野県市町村教育委員会研修総会オンライン開催について、お願いします。

○竹田教育総務係 15ページを御覧ください。

佐久で行われる長野県市町村教育委員会の研修会ですが、コロナの拡大、終息が見通せないということでオンライン開催というふうになりました。

詳しい内容は16ページ17ページに載っております。

最初の全体会と最後の会のところは市町村教育委員会単位で参加してくれということです。上から7番目の参加方法のところに書いてあります。どうも参加制限があるようで、その関係から市町村単位で、1つのパソコンで出てくれということだと思います。

その後の分散会になるときは、今度は一人一人パソコンで入り直して、別の会議システムのZoomのほうで入ることになります。皆さんにパソコンを5人分用意してありますので、それぞれ同じ部屋の中ですが、別の分散会に参加していただくということになります。

そして、分散会が終わりましたら、全体会のほうは、またTeamsで全体会を行うと、そんな流れになります。

またこちらのほうの細かいことはこれから連絡があると思いますが、私どもとしては、本庁舎の第2会議室のほうに場所を用意してあります。パソコンも用意してあります。設定等は我々がやりますので、そちらのほうに集まっただいて、そこで各分散会に参加していただければというふうに思います。

17ページに細かい記載がありますので、またお読みください。

以上です。

1つ追加で、昼食は、この間までは注文でやっていたのですが、それがなくなったので、それだけちょっと……。

○福澤教育長職務代理者 昼を挟みますものね。

○竹田教育総務係 お昼時間は1時間あるのですが……。

○本多教育長 ちょっと取ってもらえれば……。

○竹田教育総務係 お弁当か何かを用意したほうがいいですね。そうですね。そうしないと、多分入室の時間が厳しいですよ。

では、お弁当をこちらで用意するような形にしたいと思います。

○本多教育長 これは俺が質問しちゃっていけないけれども、入室1と入室3はマイクロソフトのTeamsというのは、こういうところをぽんとやったら、みんなでコの字か何かになって一斉にやるという……

○竹田教育総務係 多分1台のパソコンのところに集まってのぞき込んでいて、こっちはプロジェクターを用意してあります。

○本多教育長 小さいやつを4人でのぞき込むなんていうのは無理だから……。

○竹田教育総務係 それは多分事前に打合せでこれをつなぐ時間があると思うので、どんなふうになるかをちょっと確認してからと思います。

多分、Teamsでやっておいて続けて分散会に入れ替えると時間がかかっちゃうからZoomに入り直すという方法を取っていると思うのですが。

○本多教育長 よろしいでしょうか。

〔発言者なし〕

○本多教育長 内から育つと言っておきながら指示待ちになっちゃいけないなあと思って一生懸命聞いているのだけれども、なかなかよく分からないです。

○竹田教育総務係 多分これから接続テストの連絡が来るので、ちょっと私もテストでどんな感じになるかは確認したいと思います。

○本多教育長 すみません。本庁の第2会議室というのは、この棟の昔の食堂のところですよ。1階の突き当たりです。

余裕を持って9時半頃には来ておってもらえばいいですかね。

○竹田教育総務係 そうですね。

○本多教育長 よろしく願いいたします。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

(3) 赤穂小学校、主幹訪問について

(4) 教育課程研究協議会での御挨拶について

○本多教育長 では、次に赤穂小学校、主幹訪問について、お願いします。

○竹田教育総務係 18ページを御覧ください。

これまで6校の参加等ありがとうございました。

最後の学校訪問です。

10月11日ですが、8時50分からです。終了時間はここに12時半と書いてありますが、教育委員の皆様方は10時半までというふうに今日連絡が来ましたので、8時50分から10時半まで、約1時間半ほどですが、赤穂小学校のほうで授業等を見ていただくようになります。よろしくをお願いします。

都合の悪い方はいらっしゃいますでしょうか。

〔発言者なし〕

○竹田教育総務係 よろしいですか。

では、また私のほうから通知を届けたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○本多教育長 続けて教育課程研究協議会での挨拶について、お願いします。

○竹田教育総務係 19ページを御覧ください。

教育課程研究協議会が10月12日に行われます。連日ですみません。この日、駒ヶ根市では3つの研究授業が行われます。その開会式の中で教育委員の皆様方に御挨拶をしていただくところがあります。ようこそ駒ヶ根市へという挨拶になります。こちらのほうは、今回は木下委員と福澤職務代理のほうに出席していただくということになっておりますので、またよろしくお願ひします。

それから、来年も赤穂小、赤穂南小、中沢小で研究授業が行われます。そちらのほうもまた委員の皆様にお手伝いいただくこととなります。よろしくお願ひいたします。

指導演と案内通知のほうは届き次第お届けします。よろしくお願ひします。

以上です。

○本多教育長 主幹訪問と教育課程研究協議会、一括で、どちらからでも結構であります。御意見等ございましたらお願いします。

〔発言者なし〕

○本多教育長 主幹主事のほうの訪問は、今のところ皆様方の御都合はよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 よろしくお願ひします。

教育課程は主幹主事訪問の次の日なので連日で申し訳ありませんが、福澤代理さんと木下委員さん、すみませんが御挨拶のほうをよろしくお願ひいたします。しっかりと文章は用意いたします。

また来年も赤小、南小、中沢小と3つございますが、おとしですかね、6つというめちゃくちゃのことがありましたが、ああいうのはちょっと駄目だぞとってちょっとかなり強く言ってやりましたけれども、このように分散されればいいかなと思います。

こちらもよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 お世話になることばかりですが、よろしくお願ひいたします。

以上で用意した日程は全部終わったわけですが、全体を通して何かございますか。――よろしいでしょうか。

〔発言者なし〕

○本多教育長 それでは、本日で教育委員さんとしての最後のお仕事になります。氣賀澤委員さん、任期満了ということなのですが、大変お世話になりましたので、ここで委員さんのほうでちょっ

と一言御挨拶をいただければと思います。

○**氣賀澤委員** 長かったような短かったような、分からないことばかりで皆さんに大変御迷惑をおかけしました。

教育長さん、北澤次長さん、あと委員の皆さん、そのほかの皆さん、本当にありがとうございました。

何のお役にも立てずに申し訳ない気持ちでいっぱいです。けれど、委員にならなかつたら多分出会えなかつた方たち、行くことができなかつたところや市内の小中学校の訪問、数々の講演会と、いろいろ勉強させていただきました。大変でしたが、気持ちが引き締まる4年間だったと思います。

子どもたちは、本当にかわいくて、すばらしい力を持っていると思います。これからも子どもたちのために頑張っていただけをお願いしています。

皆様の御活躍と御多幸を祈り、願っております。

本当に4年間ありがとうございました。(一同「ありがとうございました」拍手)

○**本多教育長** 代理さんから励ましのお言葉をお願いします。

○**福澤教育長職務代理者** 氣賀澤委員さん、大変御苦勞さまでした。

4年前の10月1日から教育委員ということで、臨時の教育委員会で初めてお行き会いしてからもう4年たったのだなあという感じがします。4年というものが長いか短いかというのはいろいろありますけれども、女性の委員さんということで、前任の北原美香さんの次ということで、当初は女性の代表として近隣の教育委員とのいろいろな交流会をしてもらったりしてつないでもらったかなと、最近はやっとなくなりましたけれども、大変にありがたかったなあというふうに思っております。

また一般の家庭に戻るわけですがけれども、今後も教育行政の発展のため、また自らの発展のために御尽力いただきたいなあというふうに思います。大変御苦勞さまでした。(一同拍手)

○**北澤教育次長** 歓送迎会は、後で出てくる新しい方と併せて、ちょっと本人たちの御意向を聞きながら、可能であれば、来月も定例教委があるので、その後とか、そういうような日を中心にちょっと調整をしてもらいますので、よろしくをお願いします。それでいいでしょうか。

○**本多教育長** よろしいでしょうか。歓送迎会ということでございます。

○**北澤教育次長** またちょっと相談させていただきます。

○**福澤教育長職務代理者** 段取りをしてください。盛大に。

○**本多教育長** ちょっと最後はしんみりしてしまいましたけれども、氣賀澤さん、本当にありがとうございました。

〔「お世話になりました」と呼ぶ者あり〕

8 閉会

○**本多教育長** 以上で令和4年駒ヶ根市教育委員会第10回定例会を閉じさせていただきます。お疲れさまでした。

午後2時54分 閉会

駒ヶ根市教育委員会会議規則第25条の規定によりここに署名する。

令和 年 月 日

駒ヶ根市教育委員会

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員
